市国際障害者年記念大会
障害者はもっと勇気をもって
俵萠子氏が講演

"ふれあいのまち"をテーマとした市の「国際障害者年記念大会」が、さる二十九日、音楽文化会館で開かれ、障害者の体験発表や俵萠子氏の記念講演などが行われました。会場には、障害者、ボランティア、一般の市民ら五百人余がつめかけ熱心に聞き入っていました。

市内初の「手話劇」も上演

冒頭、川上市長が「国際障害者年は今年だけではない。今年は第一年度でこれからもずーっと続けていかなければならない。成果はあげたけれどまだまだこれから。今年をキッカケに少しでも前身させたい」とあいさつ。

続いて、体験発表にうつり、障害者の立場から鈴木洋平さんが、親の立場から小村富美枝さんがそれぞれ発表しました。

記念講演は、評論家の俵萠子氏が「完全参加と平等の社会」と題して約一時間にわたって行いました。

氏は、前の新聞記者時代の仕事を通しての体験談から話し始め「本当のふれあいができるようにするには、小さいときから健常者と障害者が一緒にいることが大切。そうしないと、大きくなってからでは間に合わない。健常者にも障害者に対し、"とまどい"があるわけで、障害者ももっともっと勇気をもってとびこんでほしい。そのことで"ふれあい"が出てくるのではないか。私たちも障害者とけんかができる世の中にしたい」と明快な語り口で講演しました。

このあと、アトラクションがあり、ろうあ協会などによる手話劇「雪女」が市内で初めて上演されたほか、視覚障害者による軽音楽、身体障害者福祉協会連合会による民謡、万代太鼓などが行われ、約四時間にわたる記念大会の幕を閉じました。

◇　◇　◇

明快な語り口で講演する俵萠子氏

クローズアップ
16年連続で花園への出場を決めた新潟工高ラグビー部監督
三ケ月　稔さん(37歳)

劣勢を伝えられた今年の大会で、新商、砺波工を連破し、十六年連続で花園への出場権を獲得。「一年生が多くチーム編成に苦労しました。その分いままで以上にうれしい優勝でした」。

五十二年に新工の監督に就任。「前任の山中監督が築いた偉大な歴史があったので」。伝統のあるチームを引き受け連勝記録を伸ばすには、それなりの苦労があったに違いない。「花園に出るのが生徒の夢、それを実現してやるのが私の役目です。今年の春先は生徒にその夢がなかった。夢を持たせるのも私の役目でした」。「生徒にはまず勉強しなさい、そして、それ以外になにか一つのものに没頭しなさいと言っています」。花園へのキップを手に入れ、目をうるませて喜ぶ生徒を見た瞬間、一つの明確な結論を見い出せたという。

「ラグビー部員は皆、自分の作品みたいなものです。ラグビーの経験がその人の長い人生にプラスになればそれでよいと思っています。勝つことよりも、勝てるように練習し、努力する人間になってほしいと思います」。

三ケ月さんとラグビーとの出会いは極めて単純だった。子供のころ虚弱児だったので、どうせやるならと高校のラグビー部に入部。「現役時代はフォワードのスクラムセンターをやっていたが、どうしようもないプレイヤーでした」と謙そんするが、相当なラグビーの虫だったらしい。

「典型的な外柔内剛の人です。慎重だが、いったん決断したら必ずやりとおす人です」(沖ラグビー部顧問)と周りの評価も高い。

ラグビー部の監督には珍らしい化学の先生で、毎日講議や実験に忙がしい。試合でも、冷静だが理詰めな作戦を取ると、もっぱらのうわさだ。

「ノーサイドという言葉が一番よくこのスポーツを表わしています。勝ち負けにかかわらず選手に満足感を与えてくれます」。「自分で何のスポーツをやったらよいかわからない人はラグビーを勧めます。必ずいい結果が出ます」。ラグビー賛歌が続く。

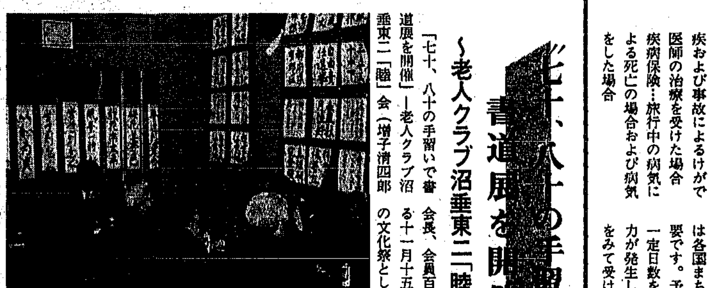
新潟青果協会がみかんを寄贈

先月二十八日、新潟青果協会(稲島新一会長)が社会福祉に役立ててほしいと、みかん五十箱を市に寄贈しました。(写真＝目録の贈呈)

同協会では毎年この時期に寄贈を行っているもので、すでに恒例化した善意の寄付。

市では市内の社会福祉施設二十三カ所に配分しました。

"七十、八十の手習い"書道展を開催
～老人クラブ沼垂東二「睦」会～


書道展の後の懇親会風景

「七十、八十の手習いで書道展を開催」—老人クラブ沼垂東二「睦」会(増子清四郎会長、会員百十人)では、さる十一月十五日、老人クラブの文化祭として、近くの集会所で書道展を行い、お年寄りや地域の人たちでにぎわいました。

書道展は昭和五十三年から始めたもので今年で四回目。

書道教室は、会員が十八人でほとんどが女性、毎週月曜日、沼垂日ノ出町の上町町内集会所で練習しています。

年齢は、七十、八十の高齢者も多く、小学校を卒業して五十年余筆など持ったことのない初心者がほとんど。それでもお互いに励ましあってがんばっています。

当日は、市や市老人クラブ連合会、沼垂校区の各老人クラブの代表らが出席し、優秀作品者に賞状をおくり日頃の成果をたたえました。

・老人クラブでは、このほか市の「動く市政教室」を利用しての市政勉強や、春、秋の県外旅行などを行い、親睦を深めています。

森田小一郎さん(副会長)の話　「専門家から見れば稚劣なものでしょうが…。働くことだけの"沼垂おんな"が、晩年に知った生きる喜びとして真剣に取り組んでいる姿を知ってほしい。将来は、菊の展示会や民謡教室などもやりたい」

海外旅行中の病気、けがに備えて
海外での医療費

海外旅行中に受けた医療には、健康保険などの医療費は給付されません。賠償責任、携行品の盗難などとともに医療についても、その出費を補償するものとして海外旅行保険があります。

海外旅行保険の種類

傷害保険…旅行中の偶然の事故による死亡、不具、廃疾および事故によるけがで医師の治療を受けた場合

疾病保険…旅行中の病気による死亡の場合および病気をした場合

このほか、賠償責任保険、特別費用保険などがあります。

予防接種

コレラ、黄熱などの恐ろしい検疫伝染病の国内侵入防止のため、世界各国は国際予防接種証明書(イエローカード)を入国のときに要求しています。この要求は各国まちまちで注意が必要です。予防接種は接種後一定日数を経過してから効力が発生しますので、余裕をみて受けましょう。また、接種後の副作用で発熱などの症状が伴うことがありますので、出発間際の接種は避けること。

準備したい薬

何らかの病気がある場合は完全に治るまで海外旅行は見合わせるのが賢明です。高血圧や心臓病などの慢性疾患のある人も旅行中の服薬を完全にしなければなりません。健康な人も風邪薬、胃腸薬、解熱剤、外傷の手当に必要なものは、持って行くほうがよいでしょう。

保健婦による健康相談

月日	対象校区	会場	時間
12・9	内野	五十嵐1の丁公会堂	午後1時～3時
12・10	中野小屋	中野小屋連絡所	午前10時～正午 午後1時～3時

※中野小屋地区は小児科医師の相談があります

育児相談

持参品　母子手帳
問い合わせ　各会場へ
〈鳥屋野地区保健センター会場〉
日時　12月8日午後1時～3時
〈石山地区保健センター会場〉
日時　12月18日午後1時～3時

離乳食講習会

日時　12月9日午後1時～3時半
会場　東保健所
対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
持参品　母子手帳

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎41－4111
西保健所	☎66－5171
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西地区保健センター	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

成人病食事相談

会場	月日	時間
東保健所	12月14日	午前9時～11時
石山地区保健センター	12月9日	午後1時～3時
西保健所	12月8日	午前9時～11時
中野小屋連絡所	12月10日	午前10時～午後2時
赤塚連絡所	12月14日	午前10時～午後2時

申し込み　東保、石山地区、西保は電話で予約を

血圧の高い人の生活と食事指導講習会

内容　生活指導、食生活の注意と調理実演、質問と試食、みそ汁の塩分測定(希望者はコップまたは牛乳びんに半分程度お持ちください)
問い合わせ　東保健所へ
〈松潟公民館会場〉
日時　12月8日午後1時半～3時半
〈南浜連絡所会場〉
日時　12月10日午後1時半～3時半

幼児の食事講習会

日時　12月15日午前10時～正午
会場　東保健所
対象　1～5歳までの幼児をお持ちのお母さん
内容　バランスのとれた幼児の1日の食事とおやつ、偏食のなおし方、調理実習(牛乳、乳製品を使った料理とおやつ)
持参品　母子手帳、エプロン、三角布
申し込み　電話で東保健所へ

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
12・7	午前9時～正午	日産プリンス新潟販売(株)(万代1)
12・7	午後1時～午後3時半	新潟臨港海陸運送(株)臨港事務所(臨港2)
12・8	午前9時～午後3時	日産プリンス新潟販売(株)新潟営業所(寺西3丁目)
12・11	午前9時～正午	航空自衛隊新潟救難隊(松浜)
12・11	午後1時～午後3時半	(株)大川鉄工所下木戸工場(下木戸)
12・12	午前9時～正午	(株)マルタケ(上所島)
12・12	午後1時～午後4時	ウオロク女池店前(女池)

※正午～午後1時は受け付けを休みます